09
September

# RESULTS JAPAN ANNUAL ACTIVITY REPORT

平成３１年度

# 事業報告書

日本リザルツ 令和2年2月21日作成

2019 年 09 月 01 日

# 第 6 回日経アジア・アフリカ感染症会議 2019（スナノミ分科会）

TICAD 7 本会議、そして併催の GGG+フォーラムなど多数のサイドイベントで大いに盛り上がりを見せたみなとみらいでは、9 月 1 日は「第 6 回日経アジア・アフリカ感染症会議 2019～国境を越えて立ち向かう日本発イニシアチブ：産官学連携のさらなる前進～」、が行われました。TICAD 7 が開催されたことから、会議のテーマは今回 8 月初めにコンゴ民主共和国でエボラ出血熱が発生したこともあり、アフリカに関連するものが目白押しです。マラリアについては別の分科会で、「マラリアのない大陸へ」、「アフリカにおけるマラリアの根絶にむけた日本の取り組み」、といった多数の分科会が行われていました。その中で、これまで日本リザルツも関わってきたスナノミ症についての分科会が開催されました。

会議は、三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティングの小柴巖和氏の司会進行で、キーノートスピーチとして、サラヤ株式会社北條健生氏による「アフリカにおけるスナノミ被害の現状と対策」で始まりました。それを受けて、長崎大学熱帯研究所の金子聰教授、参議院議員秋野公造議員、そして日本リザルツ代表白須紀子氏の有識者から非常に密度の濃いプレゼンが行われました。また、白須代表からの紹介で、スナノミ症に罹患した経験をもつ白石陸君が現場での生々しい経験を活き活きと語ってくれました。

16 時～16 時 50 分の短時間ではありましたが、ほぼ満席の会場で、出席者の皆様方はスナノミ症という日頃聞きなれない病気について熱心に耳を傾けておられました。今回の分科会は、スナノミ症の悲惨さを伝えるだけではなく、専門家、JICA、企業、そして NGO の関係者が各自強みを活かして連携・協力し、根絶に向けた具体的な方向性が明確に示された戦略性の高い素晴らしい発表だったと思いました。午前中からの出口の見えないＡＭＲの論議ではついつい舟を漕いでいた筆者ですが、ここでの 50 分はまるで違いました。アフリカにおける感染症分野のこうした取り組みを本会議などで、より多くの人々と共有出来たらなあと思いました。来年の第 7 回では是非とも本会議で発表して頂ければと思います。

# ナイロビのスラム

ある日のこと。
運転手：シロー（筆者のケニア名）はケニアで何しているの？
私：スラムで結核患者さんを助けているよ
運転手：どこのスラム
私：カンゲミ
運転手：カンゲミはスラムじゃないよ。Just congested （人口密集地）だよ。

え！？カンゲミってスラムじゃないの？私、ずっと「日本リザルツはケニア・ナイロビ市のスラム街、カンゲミ地区で」って書いていたのに…
調べてみると、カンゲミはスラムと書いてある資料もあり、説が色々。
現地のことは現地の人が一番詳しい。ということで、ナイロビのスラムについて、現地の人に聞いてみました。以下が聞き取りのまとめになります。

全員がスラムと言った場所：
Kibera（写真はインターネットより）
東アフリカ最大のスラム。80 万人以上が住んでいるとされる。観光客向けのキベラスラムツアーなるものが行われており、スラムであることを売りにしている地域。

Mathare（写真はインターネットより）
ナイロビでもっとも古いスラム。人口はおよそ 50 万人。
ケニヤッタ大統領を支持するキクユ族と野党オティンガ氏を支持するルオ族が住んでいる。違法薬物がまん延し、ギャングの抗争が後を絶たないため、ナイロビで一番治安の悪い場所である。現地人でも行かないとのこと。
人口密集地、低所得者層が暮らす場所。(一部はスラム)：

われらが Kangemi（筆者撮影）
人口密集居住区。ナイロビ市内に住みたいが、家賃を安く済ませたい人が住んでいる。
ただ、バラックの数は少なく、アパートメントやきちんとしたコンクリートの家が建つなど経済発展が進んでいる。

カンゲミにあるアパート。Kibera や Mathare にはないそう。
高級住宅街（ウエストランズ、ラヴィントン）に近いため、他のスラムと言われる地域に比べ、治安がいいそう。それでも日本に比べたら危険極まりないので、リザルツでは常時私服警官を付けて活動しています。

Kawangware（写真はインターネットより）
カンゲミ同様、人口密集居住区。住人の所得はカンゲミと同じくらい。ただ、カンゲミに比べ治安が悪い。野党：オティンガ派を支持するルオ族とルイヤ族がここに住んでいるため、大統領選挙の際、デモが起きるのはこの場所である。
厳密にいうと、ナイロビ市とキアンブ市の境界である。
一部スラムという人もいるけど…？

Dandora
ごみの最終処分場がある場所。作業者の中にはここにバラックを建てて住む人もいる。最終処分場のごみから、金属、びん、プラスチックなどの使えるものを集めて販売している人もいて、ケニアの皆さんによると、「ケニアのスモーキーマウンテン」とのこと。ここも危険。

ケニアの皆さんは、バラックであるかコンクリートの建物か、構造物の違いでスラムかそ

うでないかを判断しているようです。ちなみに、国連人間居住計画（UN-Habitat）は、スラムの世帯とは、以下の項目が一つ以上欠如している世帯と定義しています。

１．改善された水へのアクセス
過度な身体的努力時間を必要とせず、適量の水が手ごろな価格で入手できる。

２．改善された衛生施設へのアクセス
私用トイレまたは妥当な人数で共用する公共のトイレの形態で、排泄物処理設備が利用できる。

３．住み続けられる保証
住居の確実な賃貸または所有の状態の証として、または強制退去からの保護のために、使用できる証拠または文書がある。

４．住居の耐久性
危険のない土地に永続的で適切な構造で施され、降雨、寒暖、または湿気といった気候条件が極度に至っても居住者を保護できる。

５．十分な生活空間
同じ部屋を共用するのは最高３名までである。

全ての人が、健康且つ、尊厳を持って暮らすためにも、どのような街づくりをしていけばいいのか、きちんと考えていく必要があると感じました。筆者の素朴な疑問に真剣に付き合ってくれた皆さん。本当にありがとうございました。

2019 年 09 月 02 日

# GGG+フォーラム@TICAD7

遅くなりましたが、8 月 29 日（木）に開催した GGG+フォーラムについてご紹介します。
全体の進行役は国連パレスチナ難民救済事業機関(UNRWA)の清田明宏保健局長でした。ユーモアと優しさに溢れた、素晴らしい進行をしていただきました。

ナイジェリアで、野生株ポリオの新たな報告がない時期が 3 年に達し、順調に行けば今年中にもアフリカ全土がポリオ・フリーとなるというニュースが 8 月 21 日に報じられたこともあり、スペシャル・オープニングのトップバッターは、ポリオの会の小山万里子代表に飾っていただきました。小山代表は、生ワクチンから不活化ワクチンへの切替えや、根絶がなされるまでポリオやポリオ患者のことを忘れないで欲しいと訴え続けることが、先にポリオにかかった者としての責務であるとお話ししてくださいました。

次に、総合司会として来日されるはずだったプリンセス・オブ・アフリカ財団創設者、イボンヌ・チャカチャカ氏のメッセージを松あきら元厚生労働副大臣が代読してくださいました。

そして、ケニア保健省のシシリー・カリウキ長官がご挨拶をされ、「女性と子どもにやさしいフォーラム」を印象付けるオープニングとなりました。

スペシャル・オープニングに続き、今年 6 月に WHO の UHC 親善大使に任命された武見敬三参議院議員に、UHC に関する基調講演をしていただきました。

基調講演の後、日本リザルツ及び平和と健康の会の浅野茂隆理事長から挨拶がありました。

ここから第 1 部の GGG+本会合に入り、司会のビル＆メリンダ・ゲイツ財団の柏倉美保子日本代表にマイクが渡されました。

和泉洋人内閣総理大臣補佐官からご挨拶をいただく予定でしたが、安倍総理大臣がアフリカ各国首脳との 2 国間会合で予定が埋まってしまったことで都合が付かず、世界連邦運動協会の谷本真邦理事にメッセージを代読していただきました。

日本医師会の横倉義武会長によるご挨拶。

次に、ご出席が叶わなかった JICA 北岡伸一理事長のメッセージを、戸田隆夫上級審議役が代理で伝えてくださいました。

ワクチン予防議員連盟の古屋範子会長代理兼幹事長からもご挨拶をいただきました。

次に、GGG からのスピーチに入っていきます。

グローバルファンド國井修戦略・投資・効果局長

Gavi ワクチンアライアンスのパスカル・ビジュレフェルド部長

GHIT Fund の大浦佳世理 CEO 兼専務理事

その後、国際保健に関わる方々からご発言をいただきました。
秋野公造参議院議員は、ワクチン予防議員連盟及び顧みられない熱帯病の根絶を目指す議員連盟双方の事務局長をされています。

武田ファーマシューティカルズのゲイリー・デゥビン上級副社長

学生代表として、グラナダヒルズチャーターハイスクール高校の山西櫻子さんからもご発言をいただきました。

厚生労働省の鈴木康裕医務技監

あべ俊子外務副大臣も駆けつけてくださいました。
第１部の後半では、結核セッションと題し、結核対策に取り組む方々によるお話をいただきました。

ヤンセンファーマ株式会社の後藤章一郎ディレクターによるセッションのオープニングスピーチ

栄研化学株式会社の和田守史代表執行役社長

株式会社タウンズの大嶽徹朗シニアマネージャー

大塚製薬株式会社の山﨑慶三プロジェクトリーダー

ジョンソン・エンド・ジョンソンのエイドリアン・トーマスバイスプレジデント

結核セッションにも触れつつ、ストップ結核パートナーシップのルチカ・ディティウ事務局長からコメントをいただきました。

第 1 部を総括した、武田ファーマシューティカルズのラジーヴ・ヴェンカヤ　プレジデントによるコメント。

厚生労働省の鈴木康裕医務技監からも、総括コメントをいただきました。

第 2 部の司会は世界保健機関（WHO）の山本尚子事務局長補が務めてくださいました。

山東昭子参議院議長によるご挨拶。国際母子栄養改善議員連盟の会長もされています。

ブルンジのジョセフ・ブトーレ第二副大統領による基調スピーチ

セネガルのアマドゥ・ホットゥ経済・計画・協力大臣による基調スピーチ

アフリカ開発銀行総裁、栄養のためのアフリカ・リーダー議長、アキンウミ・アデシナ氏による基調スピーチ

スケーリングアップ・ニュートリション（SUN）ユース代表、マックスウェル・ムンバ氏

第 2 部の後半では、2 つのパネル・ディスカッションが行われました。
UHC 達成に向けた栄養の役割と題した、前半のパネル・ディスカッション

外務省の鷲見学国際保健政策室長がモデレーターをしてくださいました。

ノルウェーのアクセル・ヤコブセン外務副大臣

ガーナのアンソニー・ンシア・アサレ保健局長

ジェイン・ナパイ・ランキサ SUN 栄養ユース代表

)
女性、子ども及び青少年のグローバル・ファイナンシング・ファシリティーのムハンマド・パテ　ディレクター（写真右）とウォーターエイド・マラウイのアニー・シェリア・ムソーサ　プログラム部長（写真左

WHO(世界保健機関)のフランチェスコ・ブランカ栄養・健康増進部ディレクター

世界食糧計画（WFP）のデイビッド・ビーズリー事務局長が到着され、スピーチをしていただきました。

持続可能で健康的な食料システムと題した、後半のパネル・ディスカッション

モデレーターをしていただいた、SUN ムーブメントのゲルダ・フェルバーグ　コーディネーター

ジョン・クフォー財団のナナ・アマ・アニング氏

ジョン・クフォー元ガーナ大統領からのビデオメッセージ

アフリカ開発銀行のジェニファー・ブランキ副総裁

栄養のための農業と食料システムに関するグローバル・パネルのサンディー・トーマス　ディレクター

ハーベストプラスのハワーズ・ブイ事務局長代行
（写真中央）

JICA の山田英也上級審議役（写真中央）

マイク・クンガ SUN ユース代表

ビル＆メリンダ・ゲイツ財団のクリス・エライアス　プレジデントによる総括コメント

外務省の鈴木秀生地球規模課題審議官による総括コメント

第 2 部から第 3 部まで、5 時間半連続で会議が行われるため、気分転換を兼ねて皆でタニタ体操を行いました。

株式会社タニタの長谷川祐司取締役によるご挨拶

第 3 部の司会、JICA 戸田隆夫上級審議役

日本・アフリカ連合友好議員連盟の逢沢一郎会長によるご挨拶

Gavi ワクチンアライアンスのンゴジ・オコンジョ＝イウェアラ理事長

グローバルファンドのドナルド・カベルカ議長

国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）のフィリッポ・グランディ高等弁務官

第 3 部は 3 つに分かれており、最初は ANA ホールディングスの信田光寿氏が進行をしてくださいました。

厚生労働省の佐原康之総括審議官

内閣官房健康・医療戦略室の佐々木正大企画官

味の素ファンデーションの上杉高志ガーナ栄養改善プロジェクト ガーナ代表

次に司会をしていただいた、日本・アフリカ連合友好議員連盟の三原朝彦会長代行

ガーナ保健省のエシ・アモアフル栄養部長

JICA の戸田隆夫上級審議役に司会を戻し、最後の議論に進みます。

シスメックス株式会社の中村由紀子国際協力事業グループ係長

サラヤ株式会社の北條健生アフリカ開発室長

株式会社シュークルキューブジャポンの佐藤弘一代表取締役社長

農林水産省食料産業局の黒岩卓企画官

財務省国際局の大浦大輔国際保健専門官

国立国際医療研究センター（NCGM）の井上肇企画戦略局長による総括コメント

第３部が終了し、宣言文の採択に移ります。山崎学園富士見高校の本間のどかさんが読み上げてくださいました。

リザルツ教育基金のジョアン・カーター代表による閉会挨拶

今回のＧＧＧ＋フォーラムは、世界連邦ユースフォーラムを中心とした、学生さん等若い皆さんのご支援をいただき、無事終了することができました。

進行役や司会を引き受けてくださった皆様、ご挨拶やスピーチ等でご登壇いただいた皆様、メッセージを届けていただいた皆様、ご出席いただいた皆様、開催にあたって様々な形でご協力をいただいた皆様に感謝申し上げます。

2019 年 09 月 05 日

# 伊藤雅治氏訃報

一般社団法人平和と健康の会の初代理事長の伊藤雅治氏が９月１日に亡くなられました。伊藤さんは元厚生労働省医政局長、社団法人全国社会保険協会連合会理事長、全国訪問看

護事業協会会長、公益財団法人日本骨髄バンク副理事長を歴任されました。
私事になりますが、私の師匠である野坂操寿氏も 8 月 27 日に亡くなられました。伝統邦楽から現代音楽まで幅広い演奏活動を行い、1991 年には 25 弦の箏を開発し、2017 年には文化功労者になりました。偉大な師を亡くし、とても悲しく思っています。
又、ボランティア仲間の藤崎さんも最近ご主人を亡くされました。
最近は身近な人の訃報が多く、つらい思いをすることが多くなりました。

2019 年 09 月 08 日

# 今日は何の日

今日 9 月 8 日は霞が関の魔法使いどーらこと白須の誕生日です。
由来は天空の城ラピュタのドーラおばさんです。似ていますか！？
いつも笑顔を絶やさず、思いやりいっぱいのどーら。いつも自分に一番厳しいどーら。これからも、国際保健の改善に向けて、魔法のステッキを片手に、元気にバリバリと活躍してもらいたいものです。

どーらさんお誕生日おめでとうございます！

# 栄養セミナー(母親編)

日本リザルツケニア事務所では 9 月 5 日にカンゲミヘルスセンターで、乳児を育てている母親向けの栄養セミナーを実施しました。

50 人近くのお母さんが参加してくれました。

最初にペリスさんが、お母さんたち栄養に関する意識調査を行いました。ケニアでは 3 人以上お子さんがいるのが当たり前のようです。

カンゲミ地区は低所得者層が暮らす地域です。子どもが多いと食費もかさみます。お母さんの中には子どもに食事を与えるため、自分の食事を抜いている人もいました。
しかし、集まったお母さんたちは、赤ちゃんに母乳を与えています。母乳が出なくなったり、母乳の栄養素が減り、赤ちゃんの成長に影響が出るので 3 食定期的に摂ることが必要であるとペリスさんがアドバイスしていました。

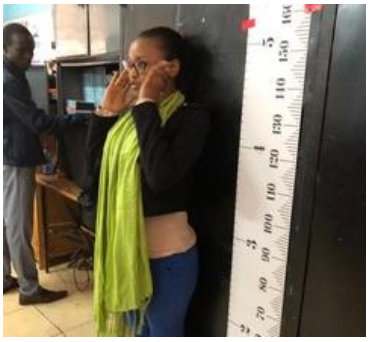
またウエストランズサブカウンティの Jane さんからは母乳が出なくなったときのマッサージ方法など、より実践的な対応を教わりました。
その上で、Jane さんは、栄養不良や母乳育児に困った場合はいつでもヘルスセンター相談に来るよう伝えていました。

このセミナーがきっかけでカンゲミ地区の赤ちゃんたちが健やかにすくすく成長することを期待しています。

# 栄養セミナー(子ども編)

日本リザルツケニア事務所では 9 月 3 日から 6 日にかけてウエストランズサブカウンティの 8 つの小学校で栄養セミナーを実施しました。
今回も栄養士のペリスさんの協力のもと、セミナーをしています。大学院で栄養学を専攻している彼女は、忙しい研

究の合間を縫って参加してくれました。いつもありがとうございます！



子どもたちの身長と体重の計測を実施しました。セミナーの効果もあり、ほとんどの子どもの数値が増加しており、着実に成長していました。

計測のあとは、子どもたちの食生活調査を実施しました。

セミナーに関心の高い先生方が子どもたちの調査に協力してくださいました。

ケニアでは水を飲むという習慣がなく、そのため子どもたちが甘いジュースや紅茶で水分を補っています。これが肥満や糖尿病の原因になっています。
最後にペリスさんから、水を飲むことが体内の毒素を排出することにつながるということが伝えられました。

最初は「水は味がないから嫌い」と言っていた子どもたちですが、その重要性を知り、「今日から毎日水を飲む」と約束してくれました。

ケニアには現在栄養を学ぶカリキュラムがないため、こうしたセミナーは新鮮だったようです。
セミナーを通じてウエストランズサブカウンティにおける課題も浮かびあがりましたので、来年以降も取り組みを続けられるよう知恵を絞りたいと思います。
ご協力いただいた皆さん。本当にありがとうございました。

2019 年 09 月 09 日

# 台風 15 号

台風 15 号の影響で交通機関が大きく乱れ、お昼頃に事務所に到着しました。自宅周辺や最寄駅までの道などでは特に変わった様子がありませんでしたが、事務所の前まで来て驚きました。
事務所が入っている建物のすぐ目の前に小さな緑地のような場所があるのですが、そこに生えている木が 2 本、根こそぎ倒れていました。
その場所は高いビルに囲まれた区画で、そのような場所をそれほど強い風が吹き抜けていったと想像して、
少しぞっとしました。

2019 年 09 月 11 日

# 第 4 次安倍再改造内閣速報

11 日午後発足予定の第 4 次安倍再改造内閣の速報です。
今回の組閣では、7 月 24 日の「国際連帯税シンポジウム 2019」にもご多忙の中ご出席頂き、激励を頂いた河野太郎外務大臣は、防衛大臣に就任されます。革新的資金調達について、先の G20 大阪サミットでの賛同、有識者懇談会の立ち上げを含め、多大のご尽力に感謝申し上げます。本当に有難うございました。

2019 年 09 月 12 日

# Stop TB Partnership 代表来日

Stop TB Partnership 代表のルチカ・ディトゥさんが TICAD 7 に参加するため、8 月末訪日され、TICAD 7 や日本リザルツ主催の GGG+フォーラム@TICAD 7 にご参加いただいたところですが、この機会に、厚生労働省鈴木医務技監、財務省岡本事務次官など日本政府関係幹部との意見交換の他、三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング株式会社主催の「Digital Health && Data-Driven Innovation」 及び「日経アジア・アフリカ感染症会議２０１９」など TICAD 7 公式サイドイベントにも参加したとの「The Stop TB Partnership Announcement - 10th September 2019」を受領しましたのでご紹介いたします。

政府関係者との意見交換では、結核の根絶に向けた日本政府とのパートナーシップの強化の必要性を強調しました。また、「Digital Health && Data-Driven Innovation」や日経アジア・アフリカ感染症会議２０１９等では、UHC や２０３０年までの結核根絶のためには、AI、ブロックチェーン、デジタルヘルス解決手法、遠隔医療などにおけるスタートアップ企業や日本企業の技術的解決手法が重要であることを強調されました。

ルチカさん、引き続き日本リザルツへのご指導ご協力お願い致します。

# 投稿記事-新聞掲載

職員の感染症についての投稿記事が新聞に掲載されましたので、紹介いたします。

記事は共同通信さんから配信され、佐賀新聞と徳島新聞に掲載されました。

視標

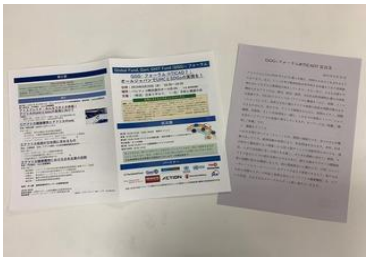
結核、マラリア根絶支援を

識者評論

アフリカの結核 日本の技術で根絶期待

2019 年 09 月 13 日

# GII/IDI 懇談会



昨日、外務省において第 146 回 GII/IDI 懇談会が開かれました。国際保健に関するＧ７、Ｇ２０、国連総会ＵＨＣハイレベル会合、グローバルファンド増資会合等様々なことについて報告がなされたとともに、今回は TICAD7 開催後の懇談会ということで、TICAD の概要について外務省から報告がりました。
ＮＧＯからはサイドイベント等の報告ということで、10 団体ほどが発表を行いました。
写真は、ＧＧＧ＋フォーラムの報告のため配布した、プログラム及び宣言文です。

2019 年 09 月 14 日

# どーらの休日

Jambo !
日本は 3 連休中とのことですが、皆さん如何お過ごしでしょうか？霞ヶ関の魔法使いどーらこと白須もナイロビで休日を満喫しております。
今日もオフィスがあるオリーブガーデンのレストランで仕事をしていると、何やら人がどんどん集まってきました。
別の場所で会議をされていたみなさんがティーブレイクのためにレストランに集まってきたのです。
興味津々のどーら。この日のメニューは、マンダジというドーナツとサモサ(肉入りの春巻きみたいなの)、それにミルクティーでした。砂糖をいっぱい入れるのがケニア流です。ホテルのシェフの皆さんと仲良しのどーら。どーらと私もサモサと野菜春巻きを揚げてもらいました。揚げたてサクサクの春巻きは日本人でも口に合うシンプルな味で美味しかったです。どーらと私はこれでお腹いっぱいでしたが、彼らにとってこれはティーブレイク。別に 13:00 からのランチと、16:00 のティーブレイクでもケニアの皆さんはがっつりと食べていましたよ！

2019 年 09 月 15 日

# 髪を切った私

共同通信の記事を見たケニア滞在中のどーらが一言。

どーら「この髪どこで切ったの？」
かめ「ナイロビです」
どーら「え、この時のがいいわよ！いってらっしゃいよ！」

そういえば、忙しさに感けて、数ヶ月髪の手入れを放っていた私。ぼさぼさの髪ではアドボカシー力も激減するのでは？と色々理由をつけて、美容院に行ってきました。
ケニアの人と日本人じゃ髪質が違うんじゃない？ちゃんとなるの？と思っている、そこのあなた。大丈夫、ナイロビは都会です。駐在する日本人、韓国人、中国人の方向けの美容師さんがいるのです。
早速予約して、最寄りのショッピングモールに。切ってくれるのは韓国人美容師のソヨンさんです。だいぶ伸びたわね！ということで、ベリーショートにすることにしました。
いざ開始！
ケニアに駐在する多くの日本人女性が御用達です。多い日は 1 日に 20 人ものお客様をカットするソヨンさん。あっという間に短くなっていきます。

ばっさり。

次はパーマ。ケニアの人は日本人みたいに髪の毛がまっすぐではないので、私たちが思っている「パーマ」をしません。ソヨンと私は慣れていますが、薬剤のにおいがきついため、ケニア人スタッフの方が逃げていきます…アシスタントのお姉さんは終始涙目でした。お姉さん、ごめんなさい！

大仏ヘアーに。

温めてカールをしっかりと定着させます。今日は私がきのこみたいですね。筆者が超直毛なのをソヨンはご存知なので、しっかりとかけます。

出来上がりました。

そういえばどーらも相手の気持ちや心象をすごく考えながらアドボカシーをしています。ただ理論的に訴えるだけでなく、見た目、表情、言葉の使い方などにも意識を持つことが大切なんだと改めて感じました。兎にも角にも、すっきりした髪の毛で、心機一転。アドボカシーにも力が入りそうです。
ナイロビの人ならわかると思いますが、Yaya Centre の 1st Floor です。ソヨンにお願いをする方は、必ず電話予約を！

2019 年 09 月 17 日

# ロタワクチンを
# 定期接種対象とする方針が決定

9 月 14 日付朝日新聞によれば、13 日の厚生労働省の部会において、ロタワクチンを定期接種対象とする方針が決定したとのことですのでお知らせます。早ければ、２０２０年度中に実施とのことです。

なお、8 月 29 日に開催された GGG+Forum@TICAD7　の第一セッションでは、ワクチン予防議員連盟会長代理の古屋範子議員及び同議員連盟事務局長の秋野公造議員から、ロタウイルスの定期接種化の推進状況含め国内のワクチンの動向について、海外の専門家の皆さん始め参加者に周知されたところです。

ロタワクチン 定期接種に

# 副大臣の顔ぶれ

副大臣・政務官決定の新聞記事を紹介します。

副大臣・政務官決定

以下 NHK ニュースより。

第 4 次安倍第 2 次改造内閣の発足に伴って、政府は 13 日の閣議で副大臣の人事を決定しました。
副大臣に決まったのは、自民党から 22 人、公明党から 3 人の、合わせて 25 人です。
このうち女性は 2 人です。
▽復興副大臣に菅家一郎氏、公明党の参議院議員の横山信一氏。
▽内閣府副大臣に大塚拓氏、平将明氏、宮下一郎氏。
▽総務副大臣に参議院議員の長谷川岳氏、寺田稔氏。寺田氏は内閣府副大臣を兼務します。
▽法務副大臣に義家弘介氏。
▽外務副大臣に鈴木馨祐氏、若宮健嗣氏。
▽財務副大臣に公明党の遠山清彦氏、参議院議員の藤川政人氏。
▽文部科学副大臣に参議院議員の上野通子氏、亀岡偉民氏。亀岡氏は内閣府副大臣を兼務します。
▽厚生労働副大臣に公明党の稲津久氏、橋本岳氏。
▽農林水産副大臣に伊東良孝氏、加藤寛治氏。
▽経済産業副大臣に牧原秀樹氏、松本洋平氏。松本氏は内閣府副大臣を兼務します。
▽国土交通副大臣に参議院議員の青木一彦氏、御法川信英氏。御法川氏は内閣府副大臣と復興副大臣を兼務します。
▽環境副大臣に佐藤ゆかり氏、石原宏高氏。石原氏は内閣府副大臣を兼務します。

▽防衛副大臣に山本朋広氏。山本氏は内閣府副大臣を兼務します。
副大臣に決まったのは以上の 25 人です。

第 4 次安倍第 2 次改造内閣の発足に伴って、政府は 13 日の閣議で政務官の人事を決定しました。政務官に決まったのは自民党から 24 人、公明党から 3 人の合わせて、27 人です。このうち女性は 6 人です。
内閣府政務官に神田憲次氏、参議院議員の今井絵理子氏、藤原崇氏。藤原氏は復興政務官を兼務します。
総務政務官に木村弥生氏、斎藤洋明氏、参議院議員の進藤金日子氏。進藤氏は内閣府政務官を兼務します。
法務政務官に宮崎政久氏。外務政務官に尾身朝子氏、中谷真一氏、中山展宏氏。財務政務官に井上貴博氏、参議院議員の宮島喜文氏。
文部科学政務官に公明党の参議院議員の佐々木さやか氏、青山周平氏。青山氏は内閣府政務官と復興政務官を兼務します。
厚生労働政務官に小島敏文氏、参議院議員の自見英子氏。農林水産政務官に公明党の参議院議員の河野義博氏、参議院議員の藤木眞也氏。
経済産業政務官に参議院議員の宮本周司氏、公明党の中野洋昌氏。中野氏は内閣府政務官と復興政務官を兼務します。
国土交通政務官に門博文氏、佐々木紀氏、参議院議員の和田政宗氏。和田氏は内閣府政務官を兼務します。
環境政務官に八木哲也氏、加藤鮎子氏。加藤氏は内閣府政務官を兼務します。防衛政務官に岩田和親氏、渡辺孝一氏。渡辺氏は内閣府政務官を兼務します。
以上の 27 人です。

2019 年 09 月 18 日

# ＧＧＧ＋フォーラム議事録作成

8 月 29 日に開催しました、ＧＧＧ＋フォーラムの議事録を現在作成しています。
日本語のテープ起こしが完了に近づいてきました。
さて、今回のＧＧＧ＋フォーラムは TICAD7 の公式サイドイベントとして行ったのですが、そのサイドイベント会場の設定は、大きな展示ホールに壁を立てて８つの区画を作り、それぞれをセミナー会場とする形式でした。そのため、音は壁を越えて他会場へ筒抜けの状態ですので、他会場の妨げとならないよう、マイクで拾った音声はスピーカーからは流さ

ず、来場者分用意したイヤホンでしか聞けないという運用がされました。それにより、当日はほとんど話を聞くことができませんでした。いつもの会合以上に議事録作成が勉強になっています。

2019 年 09 月 20 日

## きちんと続けています。

日本リザルツケニア事務所では週に 2 回、カンゲミヘルスセンターの皆さんと一緒に清掃活動を実施しています。
写真は警察官のロティチさんです。
これまでヘルスセンターでは、利用者によるお菓子やトウモロコシなどのごみのポイ捨てが問題となっていました。
また、スタッフも綿棒やコットンなどをそこら中に捨てており、掃除したそばから汚れていくという現状がありました。
そこで、ヘルスセンター長のシェムさんが、屋外での飲食を禁止し、ごみのポイ捨てを禁止する張り紙をして下さいました。また、ヘルスセンターの職員が毎朝掃除をするように指導をしてくださいました。お陰様で大分きれいになってきました。
こうした小さな積み重ねが行動変容の第一歩なのだと実感しました。

## 健康づくりに向けた「タニタ体操」のサービス提供が始まります！

8 月 29 日に横浜のみなとみらいで行われた「GGG+フォーラム@TICAD7 2019」でも大好評だったタニタ体操が、「肩こりなどのオフィスワーカーのストレスにアプローチ、法人向け健康づくりエクササイズ「タニタ体操」9 月 18 日からサービス提供を開始」されるとのことです。
GGG+での体操の一コマ、皆さん楽しそうですね。第 3 部もこれでフレッシュな議論になりましたね。自分も目の疲れなど解消のためタニタ体操エクササイズをします。詳しくは下記、株式会社タニタのプレスリリースをご覧ください。

2019 年 09 月 22 日

# 美味しいケーキを探せ！@ケニア

どーらのケニア滞在中のある日のこと。
どーら「どこかに美味しいケーキ屋さんあるかしら？」
お世話になっているオリーブガーデン（オフィスがあるホテル）のコックさんたちに差し入れがしたいとのこと。
以前、ケーキを買った近所のショッピングセンターのケーキは 1 ホール 5000 円と日本よりも高額で、何より、とてつもなく甘い＆くどかった…
かめ：「知ってますよ！」
ということで、手ごろに美味しい物が買えるケニアのローカルなケーキ屋さんに行ってきました。
ここは、甘いもの大好きな相棒のきのこ氏と一緒に訪れた思い出の場所です。

どーらはおすすめの「Black Forest」というケーキを注文。
カスタムでチョコプレートやロウソクも購入できます。
お値段はなんと 1800KES（日本円で 1800 円）！

早速、オリーブのコックさんに差し入れしました。
コックさんたちは嬉しそうにケーキを受けとると、全てのスタッフに行きわたるよう 4 センチ角くらいにケーキを小さく切って、皆さんでシェアされていました。
どーらも「スポンジフワフワで美味しい」とご満悦のようでした。

オリーブガーデンでもスタッフの入れ替えがあったのですが、今のコックさんたちは明るく仕事をされていて、どーらも大変気に入ったようです。

2019 年 09 月 24 日

# ピーター・バラカン理事

日本リザルツの理事であるピーター・バラカン氏が「アドバンスト タイム」という雑誌の表紙を飾られたので紹介します。インタビュー記事も掲載されています。
バラカン氏はリザルツの主旨に賛同され、設立当初からの理事です。

2019 年 09 月 27 日

# TICAD7 フォローアップミーティング

先週末から、今週末にかけて日本リザルツは会議週でした。下記に、会議の模様とスナップ写真を掲載します。
スタートは 9 月 20 日（金）の夕刻開催された TICAD7 フォローアップ会合です。これは、先月末に横浜のみなとみらいで行われた TICAD7 での成果を踏まえて、今後の進め方を検討するための会合であり、講師には外務省牛尾アフリカ部長（当時）をお招きしました。同部長から TICAD7 において多数のアフリカ首脳の参加等に関しての御経験を初め貴重なお話を直に伺うことができました。TICAD7 の今後フォローアップの検討にも大変参考になりました。牛尾部長本当に有難うございました。今後益々のご活躍を一同お祈りしています。

# ヘルスセンターの大掃除

日本はまだまだ暑いと思いますが、ケニアはどんよりしたお天気が続いています。
このところ、夜中になると大雨が降り、カンゲミヘルスセンターの産婦人科棟が浸水してしまいました。施設が利用できず、赤ちゃんを連れたお母さんたちが中に入れず困っていました。そのため、昨日（木曜日）は、シェムさんやサイモンさんなどヘルスセンターのスタッフとこの棟の清掃を行いました。
2 時間かけて、バケツやスコップで室内の水を外にかきだし、ようやく、利用できるようになりました。日本に比べてケニアのスラム街は排水設備が脆弱なため、雨が降るとすぐに水が溜まってしまいます。施設の更なる整備が必要だと感じました。

# シラク元大統領ご逝去

フランスの元大統領、ジャック・シラク氏がご逝去されたというニュースが報じられています。親日家で知られていたシラク元大統領ですが、2006 年の航空券連帯税導入など、国際連帯税の分野でも強力なリーダーシップを発揮された方でした。
フランスは現在でも国際連帯税の推進において主導的な国ですが、シラク元大統領の遺志を継いで、国際連帯税をより一層推進して欲しいです。
シラク元大統領のご冥福をお祈りするとともに、日本でも外務大臣が交代するなど変化がある中、国際連帯税創設への歩みを止めてはいけないと感じました。

2019 年 09 月 28 日

# 「オリンピック・パラリンピックに関する打合せ」の開催

9 月 27 日午後 3 時 45 分から、「栄養関する特別講座」に引き続いて、「オリンピック・パラリンピックに関する打合せ」を行いました。前半の栄養会議の参加メンバーが、こちらにも参加して、オリパラを契機とした栄養問題について皆で考えました。会合は、冒頭、ゲイツ財団の東京事務所の面々がこれまで検討している構想を披露して下さいました。それに続いて、参加者がそれぞれの活動を発表したり、コメントを述べたりし、非常に闊達な意見交換の場となりました。食品企業からも 3 社、栄養改善事業推進プラットフォームも参加するなど、オリパラを活用して如何に栄養の問題を考えるのかを検討するいい機会になったように思われました。さらに、オリパラの協賛企業になっている企業からの情報共有もあり、まだこれから準備を進めようと考えている企業にとってもいい刺激になったのではないかと思います。会合の終わりころには、堅い話から一転、A 社の「勝ちメシ」の話題で盛り上がりました。楽しい話になってきて本当に良かったです。
「食」とは楽しいものだということを再認識しました。日本リザルツ、あるいは今日のメンバーの皆さんで、ゲイツ財団東京事務所の取組みを応援するような形に持っていけるといいですね。最後はそのような雰囲気が出てきてよかったです。これも A 社のお陰です。
オリパラは、トップアスリートの大会ですが、一般のスポーツマンも栄養という課題は重要です。筆者も senior rower です。栄養、スポーツ、健康、この 3 本柱で頑張っていきましょう！

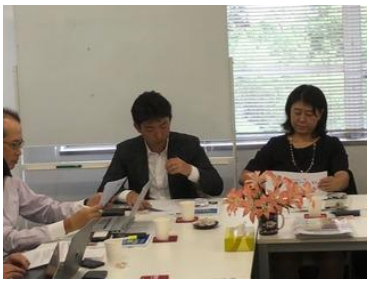
# 「栄養に関する特別講座」の開催

本日、9 月 27 日（金）午後 2 時から 1 時間半程度、「栄養に関する特別講座」行いました。演題は、日頃よりご指導を頂いている厚生労働省の清野栄養指導室長による講話「栄養政策の動向について」です。参加者は、食品関連企業、食品産業団体、栄養関連 NGO、国連組織（WFP)など栄養に係わる面々です。

はじめに、清野室長から日本の栄養政策の動向について、非常に分かり易いレクチャーをいただきました。それをベースに、各参加者の抱える課題や栄養に関する疑問を共有し、室長からその都度、丁寧なフィードバックをいただきました。参加者の皆さんは、課題の要因と解決に向けた方向性について、ヒントを得られたのではないかと思いました。

私は、この会合の参加者の招請に携わりましたが、こうしたマルチセクターの専門家が一堂に介して、政府との忌憚のない意見交換を行うことが、課題と問題解決の認識共有を深めることに非常に有益であると感じました。栄養サミットが近づく中、非政府組織として共有する認識を政府に率直にぶつけることが、栄養サミットで成果を出すきっかけになると思います。

今回の会合は 25 名程度の少人数の会合でしたが、参加して欲しかった企業、団体がまだまだあります。今回に限らず、その他のメンバーも交えた会合が開催できればと思いました。「プラットフォーム」と言った形式にとらわれることなく、まずは地道にマルチセクターメンバーの「意見交換の場」を提供し続けていくことが有効かと思いました。



2019 年 09 月 30 日

# グローバルフェスタ JAPAN２０１９

今年も、９月２８日、２９日と恒例のグローバルフェスタ JAPAN がお台場公園で開催されました。令和になって第一回目のフェスタを祝うべく、当日は晴天に恵まれ、数多くの訪問者と多数の展示ブースで盛り上がり、盛況な一日となりました。
日本リザルツでは、代表の白須以下、スタッフに加えて、ご多忙の中、春日さんも加わってオール日本リザルツチームが一丸となって、ポリオ、結核、Gavi、ウンルワ、栄養等のアドボカシー活動をはじめとする日頃の活動の成果を、来場者一人一人に心を込めて伝えることができました。また、TICAD7 はじめ各所で大好評だった令和記念金太郎飴がここでも大活躍でした。なお、筆者は企業ブースも訪問してアドボカシーを行いました。名だたる企業の皆様から熱心にご説明を受け、却って恐縮した次第です。以下に、スナップ写真を掲載いたします。最後に、カメラマンと大活躍の金太郎飴の写真です。お疲れ様でした。

# 国際食糧研究所（IFPRI）
# サイドイベント報告ページのご紹介

このブログでもご紹介した国際食糧政策研究所（IFPRI）による TICAD7 サイドイベントにつきまして、開催結果が公開されました（記事は英語です）。
飢餓の問題も肥満増加の問題も比較的少ない国は世界に２つしかなく、その１つである日

本に対する期待が述べられ、実際にアフリカにおいて日本の企業やNGO等が行っている取組みについて紹介があった他、日本の給食制度についての言及、太陽光発電パネルや冷蔵といった日本の先進技術を活用している現地のスタートアップ企業の紹介などがあったそうです。
記事の最後の部分では、ＧＧＧ＋フォーラムにおいてハーベストプラスの事務局長代行、ハワーズ・ブイ博士が登壇されたことも、写真付きで紹介してくださっています。